



ご支援総額

2024年12月16日までの寄付総額

133,404,028円

寄付金使用総額 1zł = 35円計算

3,634,463.46 zł (約127,206,221.1円)

2024/11/5(火)～2024/12/16(月)の期間中の
寄附金使用額

00.00 zł (0円)

*ビジネスポーランド語教室9月～12月分を9月にまとめて支払い済みのため、使用額なし。



ビジネスポーランド語教室視察

クラクフ市内のNGO「Zustricz」との連携で実施しているポーランド語教室を、福田会職員が視察した。同教室は現在14名の受講者があり、12月中旬まで週2日（火・木）授業が行われている。

母国では教師や銀行員といった職業に就いていたウクライナ人も同教室を受講しており、ビジネスレベルのポーランド語を身につけることでポーランドで母国と同じような職に就きたいと語っていた方も多かった。



1月以降も同様の語学教室を行っていくほか、避難民の需要もヒアリングしながらどのような支援が必要か検討していく。

現地の動向

ウクライナ侵攻から1000日がたち、11月中旬には長期化する侵攻に対し早期の帰国への想いを寄せる投稿等がSNSで目立った。

2024年にポーランドで生活をしているウクライナ避難民のうち、64%が就業をしているというデータもあり、2023年時点の50%から大きな増加を見せている。就職をしていない人の中には、子どもの世話が理由となっている人が多く、その他求人を探すことがハードルになっているとの声も聞かれる。

就職する人が増える中で、課題となっているのがポーランド人のコミュニティの中への統合である。ポーランド社会にとけこむことは重要事項であると位置づけられ、さまざまな取り組みも官民でおこなわれている。